

2018年度

基本資料

事業計画書
収支予算書
関連資料

公益社団法人 岡山青年会議所

2018年度スローガン

| | |
|--|---|
| <p>公益社団法人日本青年会議所 スローガン</p> <p>感謝の心を以て、誠を尽くそう ～限りなき可能性を信じて～</p> | <p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン</p> <p>未来を切り開く人材の育成と 経済再生による 地域の力漲る中国の実現</p> |
| <p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン</p> <p>「和」の精神性が導く 「個」と「個」が調和する おかやまの実現</p> | <p>公益社団法人岡山青年会議所 スローガン</p> |

〔目 次〕

| | | | | |
|-------|---------------|----------------|------------------|----|
| [1] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 基本理念 基本方針 | 2 |
| [2] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 理事長所信 | 3 |
| [3] | 副理事長方針 | | | 5 |
| [4] | 専務理事・常任理事方針 | | | 6 |
| [5] | 委員長事業計画 | | | 7 |
| [6] | 監事抱負 | | | 11 |
| [7] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 委員会職務分掌 | 12 |
| [8] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 年間公式スケジュール表 | 14 |
| [9] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 組織図 | 16 |
| [10] | 公益社団法人日本青年会議所 | 2018年度 | 出向者 | 17 |
| [11] | 公益社団法人日本青年会議所 | 中国地区協議会 | 2018年度 出向者 | 17 |
| [12] | 公益社団法人日本青年会議所 | 中国地区 岡山ブロック協議会 | 2018年度 出向者 | 17 |
| [13] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 理事長セクレタリー | 17 |
| [14] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー | 17 |
| [15] | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 収支予算書 | 18 |
| (付) | 公益社団法人岡山青年会議所 | 2018年度 | 理事長公職委嘱表 | 21 |
| | 公益社団法人日本青年会議所 | 2018年度 | 組織図 | 22 |
| | 公益社団法人日本青年会議所 | 中国地区協議会 | 2018年度 組織図 | 23 |
| | 公益社団法人日本青年会議所 | 中国地区 岡山ブロック協議会 | 2018年度 組織図 | 23 |
| | 公益社団法人岡山青年会議所 | 歴代理事長 | | 24 |



基本理念 若者らしい先見性をもって、郷土おかやまに共感の輪を広げる運動をし、岡山青年会議所をパワーブランドとして確立しよう。そして、進取果敢な挑戦を続け、誇りあるまちおかやまを実現することで、郷土にもっとも求められる存在となろう。

基本方針 礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、どんな困難にも屈しない気骨をもつ自立したリーダーとして大きく成長しよう。変革の時代に相応しい目的意識をもった手法によるひとつづくりに挑もう。

市民が誇りに想えるまちを実現するために、おかやまにしかない魅力と価値を見出し、様々な団体と手を携え、誰もが共感できる事業を展開しよう。共感の輪を広げ、若者が夢を描けるおかやまを創出しよう。

利他の精神で、卓越した「礼儀礼節」・「おもてなし」を体現することにより、友情を育む心地良い空間を創出しよう。成長を実感できる機会を提供し、活力を生み出せる効果的な場を確立しよう。

岡山青年会議所を、おかやまのまちのパワーブランドとして確立するために、共感を得られる運動を行い、広く発信しよう。社会的信用のある団体として組織運営をおこない、郷土にもっとも求められる存在となるよう、岡山青年会議所をブランディングしよう。

〔2〕公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 理事長所信



2012年 前期入会
後期 渉外・交流委員会
2013年 渉外委員会 幹事
2014年 まちづくり委員会 幹事
2015年 総務委員会 副委員長
2016年 総務委員会 理事委員長
2017年 副理事長

第68代理事長 青木浩平

私たちが暮らし、生業を営む郷土おかやまは、災害が少なく、温暖な気候で、交通の結節点としての利便性も良く、移住したいまちの上位に選ばれ続けています。東京ではオリンピックが開催されるなど首都圏では盛り上がりを見せていますが、郷土おかやまに目を向けると、近年の少子化や大都市圏への人口流出を一因とした、2020年以降見込まれる岡山市の人口減少問題など、依然として抱えている課題は多くあります。人口減少は社会構造そのものを変えていかなければならない地方の問題です。このような時代において、郷土おかやまが抱える様々な問題を社会構造変革のチャンスと捉えるのであれば、郷土おかやまでもまちづくりを担う私たちは何をしなければならないのか。

岡山青年会議所が、郷土おかやまと共に飛躍するためには、誰よりも先駆けて、一石を投じ、先進的で斬新な手法で、地域の問題を解決することが求められます。おかやまに住む人々が郷土に誇りを持ち、おかやまを愛する岡山人となる運動・事業を展開することで、ひとが集い活力あふれる郷土おかやまを創出しましょう。

ひとづくり室 時代が共感するリーダーの創出

岡山青年会議所のひとづくりの本質は、徹底的にひとにこだわることで育まれる泥臭く妥協のない人間関係にあります。青年会議所の門を叩いた年齢や職種の違う人間が、互いに切磋琢磨し、己を律することで力強く生きる術を身につけていきます。また、机上ではなく事業や様々な人財との交流を通して、礼儀・礼節を学び、青年経済人としての所作を身につけるのです。そして、成果や結果よりもその過程、とりわけ共に費やす時間にこそ意義を見出すひとづくりの中で、思いやりの心を育み、利他の精神で行動できるリーダーへ誰もが成長していかなければなりません。しかしながら、その環境に浸るだけでは自己成長を実現することはできません。今までは避けて通っていた道を、自ら少しの勇気を持ち、その道を選択することが必要です。自らの成長を貪欲に求め、率先して行動しなければ、何も得ることはできません。一度きりの人生の中で、まだやり直す時間もある青年期であれば、まずは実行しよう。自分がやると決めた結果、後悔はないはずです。しっかりと目的意識を持ち岡山青年会議所という道場で修練を積み、奉仕の心を養い、かけがえのない友情を育むことで、周囲を巻き込み、時代に先駆け一石を投じ、共感の輪を広げられるリーダーへと成長しましょう。

まちづくり室 共感溢れる地域の創出

全国と比べ人口の推移が緩やかな岡山市ですが、少子高齢化による人口減少は、避けて通れない課題となっています。人口減少によって引き起こされる問題は、産業の担い手不足や、地域コミュニティの機能低下など、私たちの身近なことばかりです。おかやまに戻ってくる人々、或いは、おかやまに移住する人を増やすためには、若い世代が生き生きと暮らせるまちでなければなりません。そのためには、一つでも多くの魅力を見出し、まちの活性化を目指す必要があります。

若い世代が夢を描けるまちの創出に向け、岡山青年会議所は、おかやまにしかないポテンシャルの高い地域資源を掘り起こし、新たな人の流れを生むことで、まちを活性化させなければなりません。それを実現させるためには、岡山青年会議所単体で考えるのではなく、様々な団体と手を携え、それぞれの強みを活かし、まちづくりを展開することも必要です。その結果、若い世代がおかやまの価値に気づき、おかやまに誇りを持ち、おかやまの為に行動し、おかやまのまちを愛してやまない、共感の輪が広がるまちおかやまを実現していきましょう。

今年25回目の節目を迎えるうらじゃ。四半世紀が経ち、今では2日間で約50万人以上を動員し、すっかりおかやまの夏の風物詩として定着しています。先輩方が「共生と融和」をテーマに創り、育ててきたうらじゃが、おかやまのまつりとして今後も持続的に発展するために、絶えず多角的に見据え支援していきます。

交流室 共感から生まれる至高の場の創出

私たちは青年会議所という団体で、修練・奉仕・友情を信条とし、青年期のかけがえのない時を地域の為に同志と共に活動しています。その同志と、貴重な時間を共有し、夢を語り合うことで、信頼を築き成熟される友情。友情を育む時間を、価値あるものと為すためには、この時、この瞬間お互いが何かを得ようと弛まぬ努力をし、交流しなければなりません。そして、フィールドは県内にとどまらず、全国、世界へと用意されています。その貴重な機会を設営する際には、ただ楽しい時を過ごすのではなく、必ず気づきや学びが得られるよう熟慮し、相手の趣味嗜好を徹底的に調べ上げ、心地良い時を提供するこだわりを持った設営をしなければなりません。そして参加する際には、まず、何事にも積極的に参加し、設えの意を介し、礼儀・礼節を弁え、感謝することが必要です。もてなす側、もてなされる側の、思いが相交わることで、至高の場となるのです。

また、例会はメンバーが一同に会し、学びや友情を育む貴重な時間であり、効果的な青年会議所活動を生み出していく場でもあります。メンバー同士が新たな情報を共有し共感することで、成長できる設えも必要となってきます。だからこそ、学びや気づきが多く得られる場へと確立し、メンバーが必ず行きたいと思える例会とすることで、岡山青年会議所の運動の効果を高めていけるのです。

岡山青年会議所がこだわり、先輩から連綿と受け継ぎ、築き上げてきた「おもてなし」の精神。相手の事を一番に考え、相手の喜びを自分の喜びとし、誠心誠意準備し、迎える「おもてなし」より育まれる友情をもって、自己成長を実現し、自分にしかできない青年会議所活動の楽しさを謳歌しよう。

総務室 共感を呼ぶ組織運営の確立

地域で活躍するリーダーが集まり、成長できるのが岡山青年会議所です。しかしメンバーが少なくは会員の質の向上や、発信力を発揮することは難しくなります。志高いメンバーを一人でも多くおかやまのために輩出していくことは私たちの使命です。そして、時代の先端を走り、地域に貢献していくことは私たちの使命でもあります。この誇りある組織を未来に紡いでいくためにも、積極的に会員拡大に取り組んでいかなければなりません。何よりも私たちが、岡山青年会議所の看板だという意識を持ち、私たちの身近な家族や会社に好意的に共感を得られる青年会議所活動を行うことが、最大の拡大ツールになるのです。また、おかやまに住む人々に対しても、私たちの認知度は、まだまだ満足いくものではありません。私たちが日々行っている活動、特に社会的信頼のある公益目的事業については、SNSや紙媒体による発信、マスコミや行政と手を取り、総合的に広報していくことで、岡山青年会議所の存在感を高めていきましょう。

岡山青年会議所は、公益法人格を有する団体であるからこそ、組織運営について意識しなければなりません。財政運営については限られた予算を公平にかつ、効率的に利用することはもちろんのこと、コンプライアンスの徹底された社会的信用のある団体として活動し、岡山青年会議所の価値を高めていく組織運営を行う必要があります。また、能動的に行動し、組織の要として歴史を紐解き、会員の資質、そして私たちが行う事業の本質をしっかりと吟味することが求められます。

岡山青年会議所が今後、持続的な発展を遂げる団体であるためには、伝統に学びかつ、ひとつとなり、明るい豊かな社会の実現に向け、時代の先をいく活動を展開していきましょう。

むすびに

数ある団体の中で、私たちは岡山青年会議所を選択しました。岡山青年会議所という学び舎で私たちは、かけがえのない友情を培い、ひとつづくり、まちづくり事業を展開しています。自分を信じ、仲間を信じることで、今までの自分では乗り越えることのできなかつた高い壁も乗り越えることで、自分たちの可能性が広がる喜びを感じているはずです。そのことは青年会議所だからこそ味わうことのできる醍醐味です。しかしながら、大切な家族、会社の時間を青年会議所につき込み、たくさんの人を巻き込みながら活動しています。だからこそ私たちは、享受できた喜びを、必ず自分の身近なひとへ、自らの大きな成長と共に伝え、共感を得ることが最大の責務なのです。ひとの人生の価値を測ることはできませんが、ひとに徹底的にこだわる中で高い熱量を持ち合わせ、かけがえのない仲間とともに今を精一杯懸けることで、これからの時代に生きる自分たちの子供や孫に誇れる活気ある郷土おかやまを、創出することができたならば、至極幸せな人生となるのではないのでしょうか。

最後に本年度も公益社団法人日本青年会議所に多くのメンバーを出向させていただきます。岡山青年会議所としても全力で担うべき役割を全うしていきます。特別会員の皆様、関係各位におかれましては本年も岡山青年会議所に多大なるご支援、ご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

〔3〕副理事長方針



ひとづくり室

副理事長 野上昌範

本年度、青木理事長のご指名により副理事長ならびに会員研修委員会委員長という大役を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。

岡山青年会議所は会員減少の時期を経て、若干数ではありますが会員が増加傾向にあります。その一方で経験のある会員が少なくなっているのも事実で、これまで以上に「ひとづくり」の風土や目的を継承していく必要があります。「ひとづくり」という風土は、礼儀礼節の研鑽は勿論のこと、仲間と共に様々な困難に挑戦し、克服する濃密な時間を過ごすことで、友情だけでなく、リーダーとしての資質を積み上げる環境の創出に他ならないと考えます。

社会の変化や、時間が濃縮されていく時代の中でも目的は変えることなく、青年経済人としての所作を身につけ、自己成長に繋げ、相手の事を思いやる利他の精神を学び、かけがいのない友情を育むことができるひとづくりを一年間おこなって参ります。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし邁進して参ります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう心よりよろしくお願い申し上げます。

2010年 7月入会
2011年 会員研修委員会
2012年 例会・親睦委員会 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長
2014年 会員研修委員会 幹事
2015年 広報・渉外委員会 理事委員長
2016年 副理事長
2017年 専務理事



まちづくり室

副理事長 岸 紘 史

本年度、青木理事長よりまちづくり室副理事長という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時にその果たすべき責務の大きさと重さを強く感じております。全力で青木理事長をお支えし、共感溢れるまちおかやまの創出に全力を尽くして参ります。

近年、人口減少によって引き起こされる様々な問題がおかやまの未来に大きな影響を及ぼしていくことが想定されます。岡山青年会議所のまちづくりとして、現代社会の問題と向き合い、若者ならではの先見性と行動力で郷土おかやまにしかない魅力を最大限に掘り起こし、行政や他団体、市民と手を携え、共感の輪が広がる事業を展開して参ります。

また、本年で四半世紀という大きな節目を迎える第25回「うらじゃ」では、今まで以上に郷土おかやまの発展と、誰もが誇りに思えるおかやまを代表するまつりとなるよう取り組んで参ります。そして、振興活動にも力を入れ、うらじゃの共感の輪を広げて参ります。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた歴史や伝統を引き継ぎつつ、新しいことにも率先して挑戦し、おかやまのまちのために全力で取り組んで参ります。特別会員の皆様をはじめ、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 会員拡大特別委員会 委員
2016年 まちづくり委員会 副委員長
2017年 会員研修委員会 理事委員長



交流室

副理事長 小林 佑 輔

青木理事長より交流室担当副理事長という大役を拝命し、大変身の引き締まる思いです。今年度は、磯島常任理事とともに、杉委員長率いる渉外委員会と、金沢委員長率いる例会委員会を担当させていただき、これからの時代の在り方を的確にとらえながら、岡山青年会議所が大切にしてきた「礼儀礼節」・「おもてなし」を体現できるようしっかりと取り組んでまいります。青年期のかけがえのない時間を価値あるものにするために、一瞬一瞬を大切に、より洗練された「友情」を育める空間を創り出すことに全力で取り組んでまいります。常に利他の精神を持ち、相手に感動を味わってもらうことを自分の喜びとし、共感から生まれる至高の場を創出してまいります。また、例会においては、岡山青年会議所メンバーの自己成長を実感できる機会を創出し、人生の活力となる場を提供してまいります。過去の在り方にとらわれることなく、斬新な発想と手法を持って、メンバーが誇りを持てるような共感の場を確立してまいります。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2011年 1月入会
後期：例会親睦委員会
2012年 総務・広報委員会 幹事
2013年 岡山JCブランド確立委員会
2014年 渉外委員会 副委員長
2015年 総務委員会 理事委員長
2016年 専務理事
2017年 副理事長

〔4〕専務理事・常任理事方針



総務室

専務理事 古市 聖一郎

本年度、青木理事長より専務理事という大役を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。専務理事として、青木理事長をしっかりとお支えし、総務室 仲村常任理事と岡山JCパワーブランド確立委員会 石井委員長、総務委員会 高山委員長と共に岡山青年会議所68年の歴史と伝統を受け継ぎ、責任ある活動に全力で取り組んで参ります。

本年度の総務室は、岡山青年会議所の価値を最大限に高めるためのブランディング活動を行います。おかやまのまちに無くてはならない団体となるために、共感を得られる運動を行い、それを広く発信をしていくことで、共感の輪を広げ、会員数を増やし、岡山青年会議所をこのまちにとって唯一無二のパワーブランドとして確立をさせます。また公益社団法人として、社会的信用を今以上に得られるような、コンプライアンスを遵守した組織運営を行うことで、会員の資質向上と、岡山青年会議所のブランディングにつなげます。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし邁進して参ります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう心よりよろしくお願い申し上げます。

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 総務委員会 委員
2016年 渉外委員会 副委員長
2017年 リソース向上委員会 理事
委員長



交流室

常任理事 磯島 慈海

青木理事長より交流室担当常任理事の役職を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。今年度、小林副理事長よりご指導をいただき、渉外委員会の杉委員長、例会委員会の金沢委員長と共に力を結集して、諸先輩方が大切にしてくられた「おもてなし」の精神を継承すると共に、私たちにできる68年目の新たな一段を積み上げて参ります。

本年度の交流室は共感から生まれる至高の場の創出を目標に、メンバーが身を削って参加してくれた貴重な時間を最も価値あるものとするために、もてなす側ともてなされる側の思いが交わる主客一体の時間を創出して参ります。設営する時も参加する時もメンバーひとりひとりが常に岡山青年会議所の看板を背負って参加していることを忘れません。誠心誠意準備を行い、心地良い時を提供し、参加する際には設えの意を介し、あらゆることに学びと感謝の気持ちを感じられる時間へ誘って参ります。また、例会は理事長の思いをメンバーが共有して、岡山青年会議所の方向性を明確にし、それぞれの活動の成果を効果的に高める場として、誰もが参加したいと思える設営を行って参ります。

最後になりましたが、郷土を支える皆様、特別会員の皆様、現役会員の皆様に於かれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりよろしくお願い申し上げます。

2010年 7月入会
例会親睦委員会
2011年 総務広報委員会
2012年 総務委員会 幹事
2013年 拡大・広報委員会 副委員長
2014年 真にありたいまち・おかや
ま創生委員会 理事委員長
2016年 渉外委員会 副委員長
2017年 常任理事



総務室

常任理事 仲村 陽平

本年度、青木理事長より総務室常任理事という大役を仰せつかり、その成すべき職責の重さを感じております。岡山青年会議所の常任理事として、そして組織の潤滑油となるべく、古市専務理事のもと岡山JCパワーブランド確立委員会・石井委員長並びに総務委員会・高山委員長と協働し、岡山青年会議所が紡いできた68年間の歴史と伝統を受け継ぎ、全力でその責務を果たす所存であります。

本年度の総務室は、青木理事長が目指す「共感の輪を広げる行動をし、岡山青年会議所をパワーブランドとして確立するため」にも、共感を呼ぶ組織運営の確立に焦点を当て、会員拡大、広報、組織運営、に若者らしく進取果敢な挑戦を行います。また、先見性を追求し、おかやまのまちに無くてはならない存在の団体を目指し、パワーブランドの確立へ向けてSNSや紙媒体、各種メディア戦略をもって、総合的に広報に尽力して参ります。また、公益法人格を有する団体であるため、高潔な組織運営を意識し、コンプライアンス遵守しながら活動を行い、持続的な発展を遂げていきます。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、心よりよろしくお願い申し上げます。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-総務委員会 委員
2015年 真にありたいまちおかや
ま創生委員会 幹事
2016年 会員研修委員会 副委員長
2017年 交流推進委員会 理事委員
長

〔5〕委員長事業計画

ひとづくり室 会員研修委員会



委員長 野上昌範

2010年 7月入会
2011年 会員研修委員会
2012年 例会・親睦委員会 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長
2014年 会員研修委員会 幹事
2015年 広報・渉外委員会 理事委員長
2016年 副理事長
2017年 専務理事

本年度、ひとづくり室の委員長を仰せつかり、岡山青年会議所の大切な新会員をお預かりすることをお大変光栄ながらも、その重責を感じております。

岡山青年会議所のひとづくり室の委員会として、単に研修プログラムをこなすのでは無く、困難を乗り越える気概を持ち、見識を高め、他を敬い、自身を高める努力をし続けるひとづくりを実践して参ります。

本年度のひとづくり室では、まず青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につけるべく、新会員勉強会を開催します。講師をお招きしての委員会を開催しご講演を頂くことで、岡山青年会議所での活動意義、そしてひとづくりの礎となる気づきを得ることで成長することが出来る場を創ります。最初のプログラムとして、3分間スピーチを開催し、徹底的に自分と向き合うことで、なりたい自分になる自己実現の為にビジョンを明確にします。次に、団結して困難に立ち向かい、その過程の中で切磋琢磨することで感動を分かち合い、通常では得ることの出来ない絆と感動体験を醸成します。研修最後のプログラムとして、L O Mサービス事業の企画・運営し、岡山青年会議所の事業の組み立てを通じておもてなしや利他の精神を学び、変化に挑戦するような成長と仲間の大切さを実感してもらいたいと考えます。

又、研修プログラムだけでは無く、日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、L O Mが行う事業にも積極的に参加し、新会員へその意義を伝え、多くの価値観に触れ、各地メンバーとの出会いの場を活かして参ります。「うらじゃ」へ積極的に参加し、岡山J Cと岡山のまちづくりとの関わりを体感してもらいます。

これら研修プログラムの目的を明確にし、前期・後期の研修期間を濃密で貴重な時間にする事で、J Cメンバーとしての基礎を培うことはもちろん、その後の人生においても大きな影響を与えるような研修を行い、「与えること」の出来るひとづくりをして参ります。特別会員、現役会員の皆様には何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い致します。

まちづくり室 共感溢れるまちおかやま創出委員会



委員長 關和敏

2010年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一例会・親睦委員会 委員
2011年 例会・親睦委員会 委員
2012年 一体感ある地域の絆創造委員会 委員
2013年 会員研修委員会 幹事
2014年 協創力確立委員会 副委員長
2015年 まちづくり委員会 副委員長
2016年 岡山の未来創造委員会 副委員長
2017年 渉外委員会 副委員長

少子高齢化、人口減少は避けて通れない課題となっている昨今、解決方法を見つけることも容易ではありません。様々な価値観を共感し人口減少、コミュニティ機能低下、人材不足を今こそ打破しなければなりません。そのような中で我々岡山青年会議所の責務は、明るい豊かな社会を創出するために、地域に共感を生むことにより、一つでも多くの魅力を見出し、「共感溢れるまちの創出」となる先駆者とならなければなりません。

共感溢れるまちおかやまの創出となるためには何が必要なのかを検討して参ります。誰もが夢を描くことができる潜在能力を持った地域資源を最大限活用すると共に、これまで以上に密接に、今後も行政の皆様、岡山にある企業の皆様と共感しあい、問題提起を行ないます。我々岡山青年会議所から共感を行政、企業に認めてもらい、共感溢れるまちの創出のきっかけとなる事業、地域の魅力を最大限いかした事業を企画・実施し、岡山青年会議所のこれまでの軌跡、これから先の存在意義を後世に残していける事業に取り組んで参ります。

もう一方では我々若者世代を中心とした郷土「おかやま」に共感の輪が広がる事業をおこないます。それは、誰もが気軽に郷土「おかやま」の価値に気づき、郷土「おかやま」を誇りに思え、そして、「おかやま」のまちを愛せることができる事業を岡山青年会議所単体の運営ではなく、行政、他団体、一般企業そして一般市民を巻き込み共感溢れる事業を展開して参ります。事業を通じ、各々の強みを出し合い「共感」することにより「不易と流行」を常に意識し共感溢れるまちおかやまの創出につなげて参ります。

我々の活動は多くの皆様に「共感」を与えて参ります。個人一人では「共感」はありません。相手の方から認めてもらってこそ初めて「共感」に繋がります。我々岡山青年会議所は行政、他団体、地域の方々に対して率先して、活動に取り組んでいきます。私たち岡山青年会議所の積み重ねる行動が「共感溢れるまちおかやまの創出」に繋がると確信し、共感溢れるまちの創出に取り組んで参ります。

まちづくり室 まちづくり委員会



委員長 平田知之

おかやまは、瀬戸内という一年を通して温暖で、農業、漁業、工業のバランスの取れた恵まれた地域です。昔から災害も少なく、日本列島を見回してもこれだけの条件がそろっている地域は他に類を見ません。私達は、無意識のうちに整った環境の恩恵を受け、健やかに、そして穏やかに育ってきました。しかしながら、このおかやまにも若年層の人口減少や教育や学力レベルの低下、高齢化、過疎化による地方都市の消滅リスク、待機児童問題などが内包されています。また、満たされてはいるが「岡山といえばこれだ」と言える何かが足りない。おかやまで暮らす多くの人は、このようなことを感じているのではないのでしょうか。

岡山青年会議所のまちづくり委員会の使命は、おかやまを誇りに思える風土を醸成するきっかけづくりを行い、より多くの人々を巻き込んで大きな波を作り上げることにあります。そしてその波を我々だけの活動で終えるのではなく、人々が郷土おかやまの発展を考え、自ら変化を生み出し行動できる「志のあるおかやま人」となれるよう導いていきます。

おかやまの夏の風物詩うらじゃは、「共生と融和」をテーマに、今や行政、マスコミ、学生、企業、市民が互いに手を取り合い、一体となって活動できる最大の行事となりました。おかやまの人々にとって、うらじゃがもっと身近であり、「うらじゃのあるおかやまが好き」と感じていただきたいと願っています。

本年度、うらじゃは25回目を迎えます。まちづくり委員会は、この記念すべき回を盛大に開催出来るよう、これまで以上に行政やマスコミへPR活動を行い、運営をリードしていきます。また、振興会に対する昨年の活動を引き継ぎ、企業や教育現場へ、また、県外へ向けてうらじゃの魅力を発信して一人でも多く共感の輪を広げていきます。

おかやまのまちづくりを牽引していくリーダーとして、子供達や子育て世代の若い人々が夢や希望を抱き、誰もがおかやま人であることを誇りに思えるよう、おかやまで暮らす人々と手を取り合っ、このおかやまの為に活動して参ります。

2015年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2016年 会員研修委員会 委員
2017年 まちづくり委員会 副委員長

交流室 渉外委員会



委員長 杉大和

情報化社会が進み、様々なツールが充実し、容易にネット上でのコミュニケーションをとる事ができ、人間関係が希薄になりつつある今、メンバー一人一人が、これまで岡山青年会議所が大切にしてきた「おもてなし」の気持ちを持ち、共に活動するメンバーが友情を育める機会を提供していく必要があります。

我々渉外委員会では、参加してくれる皆様の貴重な時間を、より価値のある時間とする為に、人と人とが直接交流を持ち、「礼儀礼節」・「おもてなし」を体現していく事で、様々な気づきや学びを得る事ができる設営に全力を尽くします。

京都会議・サマーコンファレンス・全国大会では、出向者支援LOMナイトを開催し、出向者の皆様には、LOMを代表し出向先でのご活躍に対し慰労・激励を行い、感謝と意識向上の気持ちを更に強く持つ事ができ、所属LOMに帰り心地よく感じる時間を提供していきます。特に京都会議では、歴代役員を始め特別会員の方々にもご参加いただき、出向者に対し一年間の活動に向けての激励を行い、貴重なLOMナイトとなる設営を行っていきます。

また、友好LOMとの交歓会では、事前に相手LOM担当者と綿密な打ち合わせを行い、互いのLOMが本年度行っている事業を紹介し、同じ目標に向かい活動しているメンバー同士で意見交換を行い、多くの価値観に触れる機会を提供していきます。交歓会を通じて人間関係を深め、参加したメンバーが多くの気づきを得る事ができ、互いのLOMにとって財産となり、未来に続く交歓会を設営してまいります。特別会員の皆様にご参加いただける交歓会では、特別会員の皆様に心地よく感じていただき、次回も参加したい。と思っただけの設営を行ってまいります。

委員会メンバーには、自らが楽しみながらも参加いただくメンバーの事を想い設営を行う事で、自分自身の成長に繋がります。もてなす側ともてなされる側が互いに想いを通わせ、人と人とが繋がり、全ての参加メンバーにとって大きな成長の場となっていく事で、共感から生まれる至高の場を創出してまいります。

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 総務委員会 委員
2016年 渉外委員会 幹事
2017年 リソース向上委員会 副委員長

交 流 室 例 会 委 員 会



委員長 金 沢 竜 志

2020年、56年ぶりに夏季オリンピックが東京で開催される日本。復興オリンピックと銘打ち、首都圏では大いに盛り上がり、経済効果も期待されておりますが、その一方、我が郷土「おかやま」に目を向けると、アベノミクス効果も薄く、人口減少問題などの様々な問題を抱えるのが地方都市の現実です。未来ある子供たちの為に、この現実を直視し、我々は若者らしい先見性をもって何事にも進取果敢に挑戦してまいります。

岡山青年会議所をパワーブランドとして確立する例会の企画、運営。これが、例会委員会の責務です。例会の本質は、メンバーが一同に会し、学びや友情を育む貴重な時間であると共に、メンバーが必ず行きたいと思える会にすることで、効果的な青年会議所活動を生み出し、また、郷土「おかやま」に共感の輪を広げる運動をメンバー同士が共有することができる場です。近年、会員数の減少やメンバーの在籍年数の低下により、例会の本質が損なわれております。先輩から連綿と受け継ぎ、築き上げてきた「おもてなし」の精神。まずは、相手の事を一番に考え、相手の喜びを自分の喜びとし、例会を精神誠意設営し、迎える「おもてなし」の精神より育まれる友情をもって、自己成長を実現することが岡山青年会議所のこだわりであり、また不易でもあります。このこだわりや不易を軸に、我々にしかできない、そしてひとに徹底的にこだわり高い熱量をもって例会を設営することが、青年会議所の楽しさを謳歌すると共に、市民の皆様が共感できる誇りある「おかやま」の実現に、必ずや繋がると確信しております。

結びに、岡山青年会議所は言わずと知れた、ひとにこだわり、そしてまちづくりを担う団体であります。自分を信じ、仲間を信じることで、一人では乗り越えることができない高い壁を乗り越え、自分たちの可能性が広がります。これが青年会議所の醍醐味です。その青年会議所に、まずは先進的で斬新な手法で一石を投げ、市民の皆様へ共感を与え、そしてひとが集い活力あふれる郷土「おかやま」を創出してまいります。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-総務委員会 委員
2015年 会員研修委員会 幹事
2016年 渉外委員会 副委員長
2017年 総務・広報委員会 理事委員長

総 務 室 岡 山 J C パ ウ ー ブ ラ ン ド 確 立 委 員 会



委員長 石 井 聖 至

岡山青年会議所は会員数の減少という大きな課題を抱えております。ここ数年の拡大活動により微増はしておりますが、岡山市の規模に対し適正な人数に達している状況ではありません。このような状況を打破するためにも、本委員会では、「会員拡大」と「ブランディング」の二つを軸に活動を展開してまいります。

「拡大活動」については、前期15名、後期15名の入会を目標とします。それと同時に、次年度へ引き継ぎできる精度の高いリストの作成も進め、永続的に会員を拡大していくためのスキームの確立にも積極的に取り組みます。また現役メンバーはもちろん、特別会員の皆様とも、密な情報共有を行い、拡大の目的や意義を丁寧にお伝えしていく活動も行っております。「ブランディング」については、暖流やSNS、地域の情報誌、マスメディアを活用し、より多くの人へ岡山青年会議所の魅力を発信してまいります。岡山青年会議所だからこそできる話題性・意外性のあるイベントや取組みを創造することで、現役メンバーや特別会員の皆様はもちろん、市民の間でも口コミで広まっていくような、新たな試み、仕掛けづくりを行い、岡山青年会議所のイメージ向上につなげていきます。そして、担当させていただく事業の新年賀詞交換会では、特別会員の皆様との絆を深めることはもとより、各地青年会議所や行政に対して岡山青年会議所の方向性を示す会として、ひとの輪の広がりを心がけた設営を行います。

このような活動を通じ、現役会員一人ひとりがかっこいいリーダーとして周りから一目置かれる存在となること、そしてメンバーが、自らの活動に自信と誇りを持ち、周りに岡山青年会議所を語っていくことが、最大の「拡大活動」「ブランディング」につながり、おかやまにとってなくてはならない存在になると確信しております。

委員会メンバーと共に、未来の岡山青年会議所のあるべき姿を常に意識し、全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

2013年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-総務委員会 委員
2014年 拡大・広報委員会 幹事
2015年 会員拡大特別委員会 副委員長
2016年 総務委員会 副委員長
2017年 会員研修委員会 副委員長

総務室 総務委員会



委員長 高山 晃一

2015年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2016年 岡山JCの魅力発信委員会
委員
2017年 スケーラビリティ創造委員
会 副委員長

岡山青年会議所は変わろうとしています。長きにわたり活動の中核を担ってこられたメンバーがご卒業され、新たな歴史を刻むべき多くのメンバーが入会をしています。そんな今だからこそ、これまでの組織運営について見直し、不易と流行を考え、引き継ぐべきものと新たに時代に即した形に変えるべきものを見分け、新たな岡山青年会議所の組織運営を展開して参ります。そしてコンプライアンスの徹底された、社会的信用のある団体として活動し、岡山青年会議所の価値を高めて参ります。

本年度は、公益社団法人の名に恥じない「清く正しい組織運営」を念頭に活動して参ります。また縦割りの委員会にとらわれず、LOMメンバー全員との情報共有を徹底します。まず各事業の上程では、事業計画書や事業報告書の内容を吟味し、理事長所信に沿っているかを検証します。そしてその事業が自信を持って審議を通過できるよう、的確な助言を行います。その為に事前準備を怠らず、円滑な会議運営はもちろんのこと、十分な知識を持って委員会運営を行います。これは執行部会議、理事会の運営においても同様です。またLOM内で委員長予定者と副委員長幹事予定者セミナーを開催し、スタッフの役割を認識していただき、全員が共通の認識を持ち組織運営を行っていきける基礎を築きます。そして総務室の事業ともいえる新年賀詞交換会、シニアクラブ総会、世話人会は、特別会員と顔を合わせ、これまでの歴史と伝統を学ぶ貴重な機会ととらえ、今後の活動に役立てられるよう、設営を行います。LOMメンバーに対しての情報発信、スケジュール管理、手帳の作成などの業務、また現役会員と特別会員からお預かりする会費などの会計業務は、効率的に、そして透明かつ適正な運営管理に努めて参ります。

メンバーと共に担いを行う中で、ルーチンの作業委員会で終わることなく、常に学びの場となり、メンバーが成長し能動的に行動ができるよう委員会運営していくとともに、岡山青年会議所の要となり、LOMから必要とされる組織となるよう、邁進して参ります。

〔6〕 監事抱負



監事 岡部 憲一郎

2018年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事として二年目のご指名を頂き、改めてその重責を強く感じております。伝統と歴史ある岡山青年会議所の監事として2017年度よりも進んでいけるように日々励んでまいります。

ここ数年で青年会議所歴の長いメンバーが卒業していく中、岡山青年会議所の不易と流行を意識し、引き継いで行かなければいけない事や改めて革新していく事、また青年会議所運動の本質をしっかりと見極め、メンバー全員にそれを伝え、今の時代に即した青年会議所運動を行っていただけるよう監査して参ります。

また、監査だけでなく、青木理事長が想われる岡山青年会議所の事業や活動を理解し、監事という立場から、全ての事業と活動に対し、これまでの様々な方から学び得た事や先輩方よりご教授頂いた事をメンバーに伝え、2018年度の岡山青年会議所の運営に携わって参ります。

最後になりますが、二年目の監事として厳しいだけではなくメンバーの良い所に着目し伸ばしていただけるよう、誠心誠意職務を全うして参る所存でございますので、敬愛する先輩諸兄ならびにメンバーの皆様におかれましては、今までと変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2010年 7月入会
2011年 ローカル・アクティビティ委員会
2012年 渉外交流委員会 幹事
2013年 総務委員会 副委員長
2014年 まちづくり委員会 副委員長
2015年 まちづくり委員会 理事委員長
2016年 常任理事
2017年 監事



監事 末長 一範

2018年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事の大役を拝命し、身の引き締まる想いととも、やるからには、誠心誠意、真摯な心で全身全霊をもって望む所存でございます。

伝統と歴史ある岡山青年会議所ですが、ここ数年は、過渡期と受け止め、さまざまな動きを見せ、変化しようとしています。これまでになく、新しいことへ果敢に、挑戦して行かなければなりません。また、公益社団法人として、公益性の視点も大切にしなければなりません。若さとパワーで新たな道を模索し、突き進み、そして革新し続けることで、伝統を継承してきた岡山青年会議所という「ブランド」を意識しつつ、時代に合った青年会議所であり続けられるよう、公明正大な心と目をもって、監査して参りたいと思います。そしてこれまでの私の経験と知見をフルに活用し、監査だけでなく、自分のことと受け止め、青木理事長の創造する青年会議所の事業と方針を全力で支え、邁進していきたいと思います。

最後となりますが、この大役は自分が成長する機会であるとも考えています。敬愛する先輩諸兄ならびに現役メンバーの皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-渉外委員会 委員
2015年 広報渉外委員会 委員
2016年 岡山J.Cの魅力発信委員会 副委員長
2017年 スケーラビリティ創造委員会 理事委員長

〔7〕公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・前期、後期新規入会者及び新会員の研修
- ・青年経済人としての礼儀礼節・マナーの研修
- ・JCI Creed、JCI Mission、JCI Vision、JC宣言・綱領、岡山JC三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・講師委員会の開催
- ・3分間スピーチの実施
- ・団結して困難に挑み、切磋琢磨しながら一つのことを成すことにより、青年経済人としての絆を醸成するプログラムの実施
- ・LOM事業を通しての研修
- ・コミュニティープラザの開催
- ・他委員会の委員会訪問の実施
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・第25回「うらじゃ」への支援・協力

【共感溢れるまちおかやま創出委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・岡山に軌跡を残す共感溢れるまちの創出できる事業の企画・実施
- ・郷土おかやまの魅力を市民が共感できる事業の協働・参画・企画・実施
- ・緊急災害時における対応
- ・おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・第25回「うらじゃ」への支援・協力

【まちづくり委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・行政情報交歓会の企画・実施

- ・第25回「うらじゃ」実行委員会への参画
- ・うらじゃ振興会への参画
- ・おかやま桃太郎まつりへの協力・支援
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・うらじゃ実行委員会 総務部会 業務マニュアルの作成

【渉外委員会】

- ・会員拡大活動「後期新会員2名・前期新会員2名」の獲得
- ・日本JC・中国地区協議会・岡山ブロック協議会の主催する事業への積極参加を促す手法の検討・構築及び参加の取り纏め
- ・出向者支援LOMナイトの企画・設営・実施（京都会議（京都）・サマーコンファレンス（横浜）・全国大会（宮崎））
- ・スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・日本JC・中国地区協議会・岡山ブロック協議会との連絡調整及び対応
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・第25回「うらじゃ」への支援・協力

【例会委員会】

- ・会員拡大活動「後期新会員2名・前期新会員2名」の獲得
- ・例会の企画・運営
- ・岡山ブロック協議会 会長公式訪問例会並びに懇親会の企画運営
- ・企画例会の設営・実施
- ・特別会員・現役会員合同例会の企画運営
- ・市民が共感し、LOMメンバーの一体感が生まれる公開例会の企画・設営・実施
- ・昭和53年生まれ追い出し旅行の実施検討
- ・スマイルの実施
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・第25回「うらじゃ」への支援・協力

【岡山J Cパワーブランド確立委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員5名・前期新会員5名の獲得」
- ・ 他委員会の拡大活動目標達成のための支援
- ・ 会員拡大に向けて岡山市内の各企業・事業所への訪問
- ・ 委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の段取り
- ・ 岡山の情報誌やSNSなどのWEBメディアを使った情報発信
- ・ ビジネスセミナーの企画・設営・実施
- ・ 岡山J Cの魅力を発信する取組の企画・設営・実施
- ・ 会員ひとりひとりが輝く存在になるための啓蒙活動
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会の企画・設営・実施
- ・ 対内・対外的な広報の見直し並びに検討
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ 岡山J Cホームページの作成・運用
- ・ SNSを活用した広報活動の検討・実施
- ・ 報道機関への対応並びに記者会見、懇親会の検討・開催
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 第25回「うらじゃ」への支援・協力

【総務委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 適正な公益法人会計の実施
- ・ 会計経理事務並びに慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 事業計画書、事業報告書のフォーマットの見直しと精度向上
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予

算、中間決算の実施

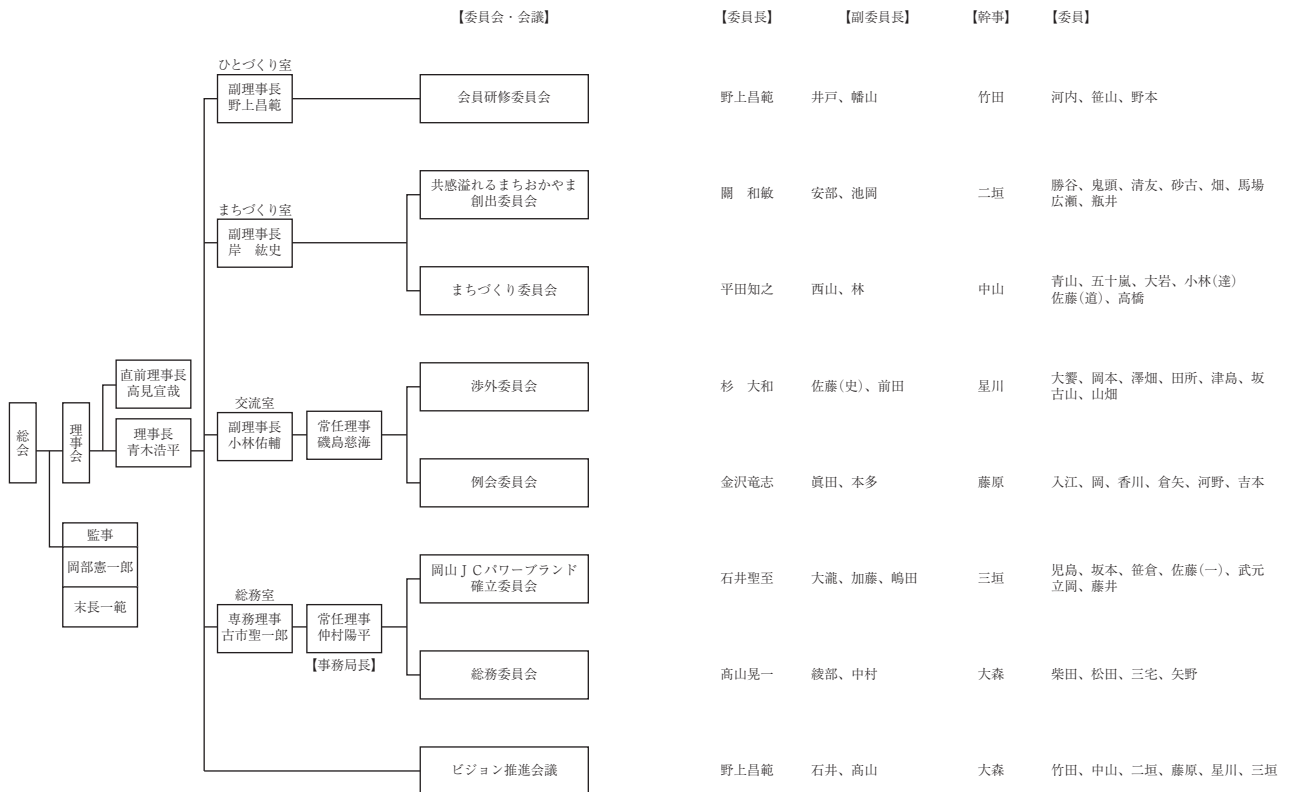
- ・ 2018年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成並びに追加
- ・ LOM年間スケジュールの作成・確認
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 定款並びに諸規程、諸規則の見直し・検討
- ・ 個人情報の管理並びに管理データの運用方法の見直し、コンプライアンス遵守の確認
- ・ 理事合宿、新理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ 日本J C、日中友好の会への入会促進
- ・ J C C Sへの登録促進
- ・ J C ルーム・倉庫内の美化と備品管理並びに発注
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 第25回「うらじゃ」への支援・協力

〔8〕 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 年間公式スケジュール表

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | |
|--------------|-------------------|--|-------------------------------|--|---|---|---|
| 岡山青年会議所 | 例会 | 11日(木)例会① バッジ授与式 | 7日(水)例会② 3分間スピーチ コミュニティ | 7日(水)第一例会③ 総会① スマイル 20日(火)第二例会④ ブロック会長公式訪 問例会 | 11日(水)例会⑤ 企画例会 | 9日(水)例会⑥ 公開例会 | 13日(水)例会⑦ コミュニティ スマイル |
| | 執行部会議 | 5日(金)第1回 執行部・理事合同会議 | 5日(月)第2回 | 7日(水)第3回 | 11日(水)第4回 | 7日(月)第5回 28日(月)第6回 | 25日(月)第7回 |
| | 理事会 | 1日(月)新年理事会 5日(金)第1回 執行部・理事合同会議 | 19日(月)第2回 | 19日(月)第3回 | 23日(月)第4回 | 14日(月)第5回 | 4日(月)第6回 |
| | 総務委員会 | 2017年12月25日(月)第1回 29日(月)第2回 | 26日(月)第3回 | | 2日(月)第4回 | 1日(火)第5回 21日(月)第6回 | 18日(月)第7回 |
| | 行事 | 5日(金) 新年挨拶回り 11日(木) 岡山J C 新年賀詞交 換会 18日(木)~21日(日) 京都会議 | 6日(火) 歴代理事長会議 | 17日(土) 新会員研修会(岡山) 26日(月) 会頭公式訪問 | 28日(土) ブロック懇親野球大 会(玉野) | 10日(木) ブロックじゃがいも 大会(美作) 24日(木)~27日(日) A S P A C (鹿児島) 日() 大阪 J C 交歓会(岡 山) | 9日(土) 親睦事業 17日(日) 岡山ブロック大会 (笠岡) |
| 岡山ブロック協議会 | 役員会議 | 13日(土)岡山 26日(金)倉敷 | 10日(土)玉島 24日(土)西大寺 | 10日(土)備前 31日(土)井原 | 10日(火)総社 30日(月)津山 | 8日(火)真庭 22日(火)児島 | 2日(土)倉敷 16日(土)笠岡 |
| | 会員会議所会議 | 26日(金)倉敷 | 24日(土)西大寺 | 31日(土)井原 | 30日(月)津山 | 22日(火)児島 | 17日(日)笠岡 |
| | 公式訪問 | | 21日(水)総社 総社・高梁 | 12日(月)倉敷 倉敷・児島・玉島 15日(木)井原 笠岡・井原 20日(火)岡山 岡山 | 4日(水)備前 西大寺・備前・玉野 26日(木)真庭 津山・真庭・新見・美 作 | | |
| | 事業 | | | 17日(土) 新会員研修会(岡山) | | | 17日(日) 岡山ブロック大会 (笠岡) |
| | 周年行事 | | | | | 13日(日) 井原55周年 | 24日(日) 真庭55周年 |
| | その他 | 9日(火) 新年挨拶回り(岡山) 9日(火) 倉敷J C 新年互例会 11日(木) 岡山J C 新年賀詞交換会 | | 26日(月) 会頭公式訪問 | 28日(土) ブロック懇親野球大 会(玉野) | 10日(木) ブロックじゃがいも 大会(美作) | |
| 中国地区協議会 | 正副会長会議 | 5日(金)出雲 | 3日(土)出雲 | 2日(金)出雲 | 7日(土)出雲 | 3日(木)出雲 | 2日(金)出雲 |
| | 財政審査会議 | 12日(金)出雲 | 9日(金) | 9日(金) | 13日(金) | 11日(金) | 8日(金) |
| | 役員会議 | 18日(木)京都 | 17日(土)金沢 | 14日(水) | 23日(月) | 17日(木) | 15日(金) |
| | 会員会議所会議 | 19日(金)京都 | | | | | |
| | 事業 | | | | | | |
| | 周年行事 | | | | | 19日(土) 下関J C 周年 | 日() 小野田J C 50周年 |
| | ブロック事業 | | | | | | |
| その他 | 19日(金)京都 地区ナイト | 7日(日) 北方領土の日 22日(木) 竹島の日 | | | | | |
| 日本青年会議所 | 正副会頭会議 | 11日(木) | 1日(木) 13日(火) | 1日(木) 7日(水) | 5日(木) 19日(木) | 2日(水) 17日(木) 31日(木) | 14日(木) 30日(土) |
| | 常任理事会 | 12日(金) | 14日(水) | 8日(木) | 20日(金) | 18日(金) | 15日(金) |
| | 理事会 | 19日(金)京都 | 15日(木) | 9日(金) | 21日(土) | 19日(土) | 16日(土) |
| | ブロック会長会議 | 19日(金)京都 | 15日(木) | 9日(金) | 21日(土) | 19日(土) | 16日(土) |
| | 総会 | 20日(土)京都 | | 24日(土)東京 | | | |
| | J C I 諸会議 | 8日(月)~14日(日) J C I 常任理事会/ 理事会 (J C I J E M/ J B M) アメリカ(セントル イス) | | | | 9日(水)~12日(土) アフリカ・中東地域 会議 ペナン(コトフー) 24日(木)~27日(日) アジア・太平洋地域 会議 日本(鹿児島) | 6日(水)~9日(土) アメリカ地域会議 アメリカ(マイアミ) 19日(火)~22日(金) ヨーロッパ地域会議 ラトビア(リガ) |
| | N O M 主要事業 | 18日(木)~21日(日) 京都会議(京都) | 16日(金)~18日(日) 金沢会議(金沢) | | | | |
| | 財政審査会議 | 6日(土)、7日(日) | 3日(土)、4日(日) | 3日(土)、4日(日) | 7日(土)、8日(日) | 12日(土)、13日(日) | 9日(土)、10日(日) |
| | 公益審査会議 | 6日(土) | 3日(土) | 3日(土) | 7日(土) | 12日(土) | 9日(土) |
| コンプライアンス審査会議 | 6日(土) | 3日(土) | 3日(土) | 7日(土) | 12日(土) | 9日(土) | |

| | | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------|--------------|---|--|---|--|---------------------------------------|---|
| 岡山青年会議所 | 例会 | 4日(水)第一例会⑤ 総会② バッジ授与式 18日(水)第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ | 8日(水)例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙 | 5日(水)例会⑪ スマイル コミュニティ 20日(木)例会⑫ OB合同例会 | 10日(水)例会⑬ 公開例会 | 7日(水)例会⑭ スマイル 出向者報告 | 5日(水)第一例会⑮ さよなら例会 19日(水)第二例会⑯ 総会⑤ |
| | 執行部会議 | 18日(水)第8回 執行部・理事合同会議 30日(月)第9回 | 27日(月)第10回 | 18日(火)第11回 | 10日(水)第12回 | 7日(水)第13回 | 3日(月)第14回 執行部・理事合同会議 |
| | 理事会 | 4日(水)第7回 18日(水)第8回 執行部・理事合同会議 | 6日(月)第9回 | 5日(水)第10回 25日(火)第11回 | 22日(月)第12回 | 19日(月)第13回 | 3日(月)第14回 執行部・理事合同会議 |
| | 総務委員会 | 11日(水)第8回 23日(月)第9回 | 20日(月)第10回 | 11日(火)第11回 | 1日(月)第12回 29日(月)第13回 | 26日(月)第14回 | |
| | 行事 | 21日(土)～22日(日) サマーコンファレンス(横浜) | 4日(土)～5日(日) 第25回うらじゃ 25日(土)～26日(日) 中国地区野球大会(平田) | 7日(金)～8日(土) 中国地区コンファレンス(鳥取) 日() 高松JC交歓会(高松) | 4日(木)～7日(日) 全国大会(宮崎) 30日(火)～11月3日(土) JCI世界会議 インド(ゴア) 日() 津山JC交歓会(岡山) 日() 広島JC交歓会(岡山) 日() ブロック懇親サッカー大会() 日()～日() 全国10LOMテニス大会() | 24日(土) 本次年度引き継ぎ式(岡山) | 19日(水) クリスマス家族会(親睦事業) 日() 倉敷JC交歓会(岡山) |
| 岡山ブロック協議会 | 役員会議 | | | 1日(土)玉島 22日(土)美作 | 13日(土)岡山 27日(土)岡山 | 10日(土)岡山 24日(土)岡山 | |
| | 会員会議所会議 | | | 22日(土)美作 | 27日(土)岡山 | 24日(土)岡山 | |
| | 公式訪問 | | | | | | |
| | 事業 | | | | | 24日(土) 本次年度引き継ぎ式(岡山) | |
| | 周年 | | | | | | |
| | その他 | | | | 日() ブロック懇親サッカー大会() | | |
| 中国地区協議会 | 正副会議 | 6日(金)出雲 | 4日(木)出雲 | 4日(火)出雲 | 10日(水)出雲 | 6日(火)出雲 | 1日(土)出雲 |
| | 財政審査会議 | 13日(金) | 10日(金) | 7日(金) | 15日(月) | 9日(金) | |
| | 役員会議 | 20日(金) | 18日(土) | 6日(土)鳥取 | 22日(月) | 20日(火) | 1日(土) |
| | 会員会議所会議 | 日() | | | | | 1日(土) |
| | 事業 | | 25日(土)～26日(日) 中国地区野球大会(平田) | 7日(金)～8日(土) 中国地区コンファレンス(鳥取) | | | |
| | 周年行事 | | | | | | |
| | ブロック事業 | | 2日(土) 広島ブロック大会(三原) | | 日() 山口ブロック大会(防府) | | |
| | その他 | 20日(金) 地区ナイト | | | | | |
| 日本青年会議所 | 正副会頭会議 | 18日(水) | | 6日(木) 13日(木) 27日(木) | 18日(木) | 8日(木) 15日(木) | 6日(木) 13日(木) |
| | 常任理事会 | 19日(木) | | 14日(金) | 19日(金) | 16日(金) | 14日(金) |
| | 理事会 | 20日(金) | | 15日(土) | 5日(金)宮崎 20日(土) | 17日(土) | 15日(土) |
| | ブロック会長会議 | 20日(金) | | 15日(土) | 5日(金)宮崎 20日(土) | 17日(土) | 15日(土) |
| | 総会 | | | | 5日(金)宮崎 | | |
| | JCI諸会議 | 24日(火)～27日(金) グローバルパートナーズサミット(GPS) 日()～日() JCI中間常任理事会(JCI MYE) アメリカ(セントルイス) | | | | 30日(火)～11月3日(土) JCI世界会議 インド(ゴア) | |
| | NOM主要事業 | 9日(月)～13日(金) 国際アカデミー(姫路) 21日(土)～22日(日) サマーコンファレンス(横浜) | | | | 4日(木)～7日(日) 全国大会(宮崎) | |
| | 財政審査会議 | 7日(土)、8日(日) | | 8日(土)、9日(日) 29日(日)、30日(月) | | 10日(土)、11日(日) | 8日(土)、9日(日) |
| | 公益審査会議 | 7日(土) | | 8日(土)、29日(日) | | 10日(土) | 8日(土) |
| | コンプライアンス審査会議 | 7日(土) | | 8日(土)、29日(日) | | 10日(土) | 8日(土) |

〔9〕公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 組織図



【休会者】 木村

〔10〕 公益社団法人日本青年会議所 2018年度 出向者

| | | | | |
|-------------------------|--------------------|-------------------------------|------------|--------------------|
| 国家戦略グループ 道徳教育推進委員会 | 委 員 | 大 瀧 健 嗣 | 委 員 | 藤 井 彰 一 |
| L O M支援グループ 全国大会運営会議 | 運営幹事 委 員 委 員 | 中 村 彰 宏 大 岩 裕 季 広 瀬 政 子 | 委 員 委 員 | 林 俊 宏 吉 本 昌 弘 |
| 総務グループ 渉外委員会 | 委 員 | 清 友 利 昭 | 委 員 | 眞 田 優 作 |
| 総務委員会 | 副委員長 委 員 委 員 | 小 林 佑 輔 香 川 陽 一 田 所 敦 史 | 委 員 委 員 | 加 藤 高 明 矢 野 大 輔 |

〔11〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2018年度 出向者

| | | |
|--------|---------|-----------------|
| 直前会長 | 佐 野 範 一 | |
| 副 会 長 | 仲 村 陽 平 | |
| 直前会長幹事 | 五十嵐 尚 輝 | 直前会長幹事 砂 古 和 宏 |
| 副会長幹事 | 津 島 周 史 | 副会長幹事 松 田 龍 乃 輔 |

〔12〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2018年度 出向者

| | | | |
|------------|--------------|--------------------|-------------|
| | 副 会 長 | 野 上 昌 範 | |
| | 副会長幹事 | 佐 藤 道 康 | 副会長幹事 武 元 浩 |
| J C運動戦略会議 | 副 議 長 議 員 | 綾 部 健 二 郎 柴 田 収 | |
| 輝く人材育成委員会 | 副委員長 委 員 | 幡 山 益 聖 池 岡 弘 康 | |
| 稼ぐ地域創生委員会 | 副委員長 委 員 | 嶋 田 昌 浩 大 饗 千 鶴 | |
| 主権者意識確立委員会 | 副委員長 委 員 | 佐 藤 史 成 笹 倉 歩 | |

〔13〕 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 安 部 真 良 セクレタリー 青 山 雅 史 セクレタリー 畑 利 昌

〔14〕 公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

| | | | |
|-------|-----------|-----|---------|
| 委 員 長 | 岡 部 憲 一 郎 | 委 員 | 坂 俊 介 |
| 副委員長 | 柴 田 収 | 委 員 | 瓶 井 潔 英 |
| 幹 事 | 高 橋 雄 大 | 委 員 | 三 宅 信 也 |
| 委 員 | 澤 畑 優 太 | | |

〔15〕公益社団法人岡山青年会議所 収支予算書

2018年1月1日から2018年12月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
|--------------|------------|------------|------------|----|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| ①特定資産運用収入 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 特定資産利息収入 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| ②受取入金収入 | 2,400,000 | 1,600,000 | 800,000 | |
| 受取入金収入 | 2,400,000 | 1,600,000 | 800,000 | |
| ③会費収入 | 21,390,000 | 18,540,000 | 2,850,000 | |
| 正会員会費収入 | 18,000,000 | 15,300,000 | 2,700,000 | |
| 特別会員会費収入 | 3,305,000 | 3,180,000 | 125,000 | |
| 特別会員積立金収入 | 85,000 | 60,000 | 25,000 | |
| ④事業収入 | 50,795,860 | 25,377,520 | 25,418,340 | |
| 登録料収入 | 36,428,500 | 12,003,000 | 24,425,500 | |
| 広告料収入 | 14,367,360 | 13,374,520 | 992,840 | |
| ⑤受取補助金等収入 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| ⑥受取負担金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑦受取寄付金収入 | 240,000 | 160,000 | 80,000 | |
| 受取寄付金収入 | 240,000 | 160,000 | 80,000 | |
| 受取募金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑧雑収入 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 受取利息収入 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 雑収入 | | | 0 | |
| 事業活動収入計 | 75,036,860 | 45,888,520 | 29,148,340 | |
| 2. 事業活動支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ①事業費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| ②管理費支出 | 72,472,579 | 43,953,945 | 28,518,634 | |
| 総務費支出 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 事務所費支出 | 3,080,000 | 3,080,000 | 0 | |
| 会議費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 給料手当支出 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | |
| 退職給付手当支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 福利厚生費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務委託費支出 | 540,000 | 540,000 | 0 | |
| 旅費交通費支出 | 0 | 84,318 | -84,318 | |
| 通信費支出 | 1,153,306 | 1,083,857 | 69,449 | |
| 印刷費支出 | 2,456,364 | 2,466,580 | -10,216 | |
| 消耗品支出 | 529,760 | 589,813 | -60,053 | |
| 会員費支出 | 1,100,000 | 1,100,000 | 0 | |
| 例会費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 広報費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 特別会員費支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 修繕支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 租税公課 | 200 | 400 | -200 | |
| 渉外費 | 309,961 | 400,000 | -90,039 | |
| J C I 渉外費 | 2,000,000 | 810,000 | 1,190,000 | |
| 備品購入支出 | 1,592,556 | 200,000 | 1,392,556 | |
| 雑支出 | 110,000 | 100,000 | 10,000 | |
| 賃借料 | 3,720,708 | 4,741,234 | -1,020,526 | |
| 保険料 | 36,830 | 64,400 | -27,570 | |
| 諸謝金 | 1,025,315 | 720,160 | 305,155 | |
| 委託費 | 37,401,731 | 11,726,856 | 25,674,875 | |
| 助成金 | 14,349,162 | 13,346,920 | 1,002,242 | |
| 接待交際費 | 860,596 | 899,407 | -38,811 | |
| 予備費 | 206,090 | 0 | 206,090 | |
| ③負担金支出 | 1,861,504 | 1,733,545 | 127,959 | |
| 加盟団体会費支出 | 1,861,504 | 1,733,545 | 127,959 | |
| ④他会計への繰入金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 他会計への繰入金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業活動支出計 | 74,334,083 | 45,687,490 | 28,646,593 | |
| 事業活動収支差額 | 702,777 | 201,030 | 501,747 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 保証金戻り収入 | | | 0 | |
| 投資活動収入計 | | | 0 | |
| 2. 投資活動支出計 | | | 0 | |
| ①特定資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 積立引当財産支出 | | | 0 | |
| 投資活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | 0 | |
| ①借入金収入 | | | 0 | |
| 財務活動収入計 | | | 0 | |
| 2. 財務活動支出 | | | 0 | |
| ①借入金返済支出 | | | 0 | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| IV 予備費支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収支差額 | 702,777 | 201,030 | 501,747 | |
| 前期繰越収支差額 | | | 0 | |
| 次期繰越収支差額 | | | | |

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書

2018年1月1日から2018年12月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 予算額 (公益) | 予算額 (共益等) | 前年度予算額 | 差額 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 経常収益 | | | | | |
| 基本財産運用益 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 | 0 |
| 基本財産受取利息 | 10,000 | 10,000 | | 10,000 | 0 |
| 特定資産運用益 | | | | | 0 |
| 特定資産受取利息 | | | | | 0 |
| 受取入会金 | 2,400,000 | 1,200,000 | 1,200,000 | 1,600,000 | 800,000 |
| 受取入会金 | 2,400,000 | 1,200,000 | 1,200,000 | 1,600,000 | 800,000 |
| 受取会費 | 21,390,000 | 10,695,000 | 10,695,000 | 18,540,000 | 2,850,000 |
| 正会員受取会費 | 18,000,000 | 9,000,000 | 9,000,000 | 15,300,000 | 2,700,000 |
| 特別会員受取会費 | 3,305,000 | 1,652,500 | 1,652,500 | 3,180,000 | 125,000 |
| 特別会員積立金収入 | 85,000 | 42,500 | 42,500 | 60,000 | 25,000 |
| 事業収益 | 50,795,860 | 43,192,360 | 7,603,500 | 25,377,520 | 25,418,340 |
| 青少年育成事業収益 | 3,325,000 | 3,325,000 | 0 | 4,910,000 | -1,585,000 |
| 人材育成事業収益 | 0 | 0 | 0 | 380,000 | -380,000 |
| 地域活性化事業収益 | 39,867,360 | 39,867,360 | 0 | 13,374,520 | 26,492,840 |
| 会員研修事業収益 | 7,603,500 | 0 | 7,603,500 | 6,713,000 | 890,500 |
| 受取補助金等 | | | | | |
| 受取国庫補助金 | 200,000 | 200,000 | | 200,000 | 0 |
| 受取負担金 | | | | | |
| 受取負担金 | | | | | |
| 受取負担金振替額 | | | | | |
| 受取寄付金 | 240,000 | 240,000 | | 160,000 | 80,000 |
| 受取寄付金 | 240,000 | 240,000 | | 160,000 | 80,000 |
| 募金収益 | | | | | |
| 受取寄付金振替額 | | | | | |
| 雑収益 | 1,000 | 500 | 500 | 1,000 | 0 |
| 受取利息 | 1,000 | 500 | 500 | 1,000 | 0 |
| 有価証券運用益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計 | 75,036,860 | 55,337,860 | 19,499,000 | 45,888,520 | 29,148,340 |
| 経常費用 | | | | | |
| 事業費 | 66,721,599 | 55,985,109 | 10,736,490 | 39,179,293 | 27,542,306 |
| 給料手当 | 1,137,500 | 975,000 | 162,500 | 1,079,000 | 58,500 |
| 臨時雇賃金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 接待交際費 | 860,596 | 44,280 | 816,316 | 899,407 | -38,811 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 84,318 | -84,318 |
| 通信運搬費 | 1,078,306 | 802,170 | 276,136 | 981,857 | 96,449 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品費 | 1,393,486 | 1,194,416 | 199,070 | 166,000 | 1,227,486 |
| 消耗品費 | 486,010 | 375,340 | 110,670 | 530,313 | -44,303 |
| 印刷製本費 | 2,320,665 | 2,145,879 | 174,786 | 2,282,028 | 38,637 |
| 燃料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 光熱水料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 賃借料 | 6,415,708 | 5,144,202 | 1,271,506 | 7,297,634 | -881,926 |
| 保険料 | 36,830 | 36,830 | 0 | 64,400 | -27,570 |
| 諸謝費 | 1,025,315 | 872,715 | 152,600 | 720,160 | 305,155 |
| 租税公課 | 200 | 200 | 0 | 400 | -200 |
| 支払負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払助成金 | 14,349,162 | 14,349,162 | 0 | 13,346,920 | 1,002,242 |
| 支払寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委託費 | 37,401,731 | 29,902,670 | 7,499,061 | 11,726,856 | 25,674,875 |
| 有価証券運用費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑費 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 予備費 | 206,090 | 142,245 | 63,845 | 0 | 206,090 |
| 管理費 | 7,612,485 | | 7,612,485 | 6,508,197 | 1,104,288 |
| 給料手当 | 162,500 | | 162,500 | 221,000 | -58,500 |
| 臨時雇賃金 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 接待交際費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 福利厚生費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 旅費交通費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 75,000 | | 75,000 | 102,000 | -27,000 |
| 減価償却費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品費 | 199,070 | | 199,070 | 34,000 | 165,070 |
| 消耗品費 | 43,750 | | 43,750 | 59,500 | -15,750 |
| 印刷製本費 | 135,700 | | 135,700 | 184,552 | -48,852 |
| 燃料費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 光熱水料費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 賃借料 | 385,000 | | 385,000 | 523,600 | -138,600 |
| 保険料 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 諸謝費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 租税公課 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 支払負担金 | 1,861,504 | | 1,861,504 | 1,733,545 | 127,959 |
| 支払助成金 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 支払寄付金 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 委託費 | 2,340,000 | | 2,340,000 | 2,340,000 | 0 |
| 有価証券運用費 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 雑費 | 2,409,961 | | 2,409,961 | 1,310,000 | 1,099,961 |
| 経常費用計 | 74,334,083 | 55,985,109 | 18,348,974 | 45,687,490 | 28,646,593 |
| 当期経常増減額 | 702,777 | -647,249 | 1,150,026 | 201,030 | 501,747 |
| 当期一般正味財産増減 | 702,777 | -647,249 | 1,150,026 | 201,030 | 501,747 |
| 一般正味財産期首残高 | | | | 53,242,133 | 0 |
| 一般正味財産期末残高 | | | | 53,443,163 | |

公益目的事業比率

55,985,109
74,334,083

=

0.753

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表
2018年1月1日から2018年12月31日まで

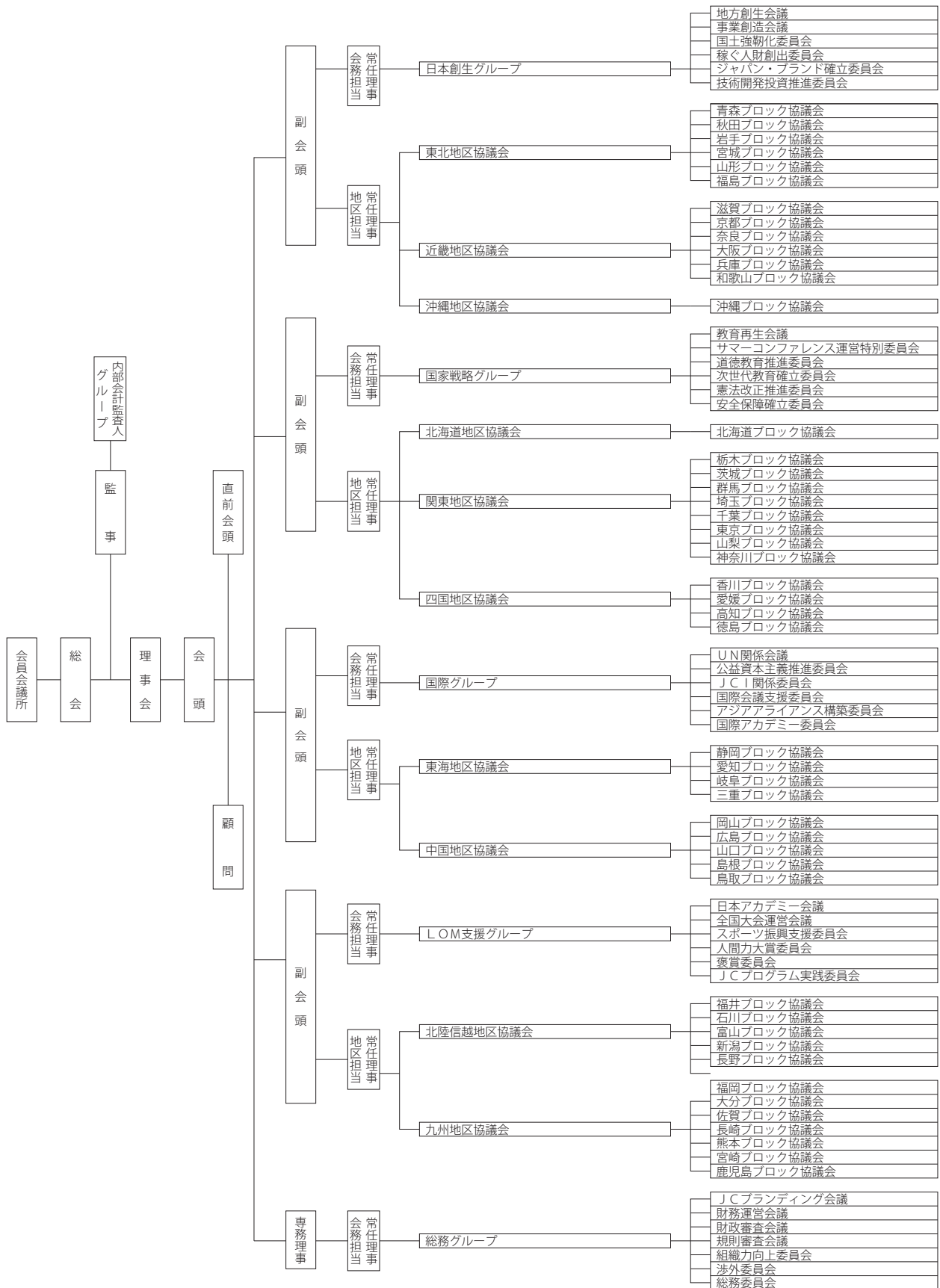
(単位：円)

| 科目 | 公益目的事業 | | | | | 収益事業等 | | 法人会計 | 内部取引 | 合計 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|------------|
| | 公1 | 公2 | 公3 | 共通 | 小計 | 他1 会員研修 | 小計 | | | |
| | 青少年育成 | 人材育成 | 地域活性化 | | | | | | | |
| 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | | | |
| 経常収益 | | | | | 0 | | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | 10,000 | 10,000 | | | | | 10,000 |
| 基本財産受取利息 | | | | 10,000 | 10,000 | | | | | 10,000 |
| 受取入金 | 0 | 0 | 0 | 1,200,000 | 1,200,000 | 600,000 | 600,000 | 600,000 | 0 | 2,400,000 |
| 受取入金 | | | | 1,200,000 | 1,200,000 | 600,000 | 600,000 | 600,000 | | 2,400,000 |
| 受取会費 | 0 | 0 | 0 | 10,695,000 | 10,695,000 | 5,347,500 | 5,347,500 | 5,347,500 | | 21,390,000 |
| 正会員受取会費 | | | | 9,000,000 | 9,000,000 | 4,500,000 | 4,500,000 | 4,500,000 | | 18,000,000 |
| 特別会員受取会費 | | | | 1,652,500 | 1,652,500 | 826,250 | 826,250 | 826,250 | | 3,305,000 |
| 特別会員積立金収入 | | | | 42,500 | 42,500 | 21,250 | 21,250 | 21,250 | | 85,000 |
| 事業収益 | 3,325,000 | 0 | 39,867,360 | | 43,192,360 | 7,603,500 | 7,603,500 | | | 50,795,860 |
| 青少年育成事業収益 | 3,325,000 | | | | 3,325,000 | | 0 | | | 3,325,000 |
| 人材育成事業収益 | | 0 | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 地域活性化事業収益 | | | 39,867,360 | | 39,867,360 | | 0 | | | 39,867,360 |
| 会員研修事業収益 | | | | | 0 | 7,603,500 | 7,603,500 | | | 7,603,500 |
| 受取補助金等 | 200,000 | 0 | 0 | | 200,000 | | | | | 200,000 |
| 受取国庫補助金 | 200,000 | | | | | | | | | 0 |
| 受取負担金 | | | | | 0 | | | | | 0 |
| 受取負担金 | | | | | | | | | | 0 |
| 受取負担金振替額 | | | | | | | | | | 0 |
| 受取寄付金 | | | | 240,000 | 240,000 | | | 0 | | 240,000 |
| 受取寄付金 | | | | 240,000 | 240,000 | | | | | 240,000 |
| 雑収益 | | | | 500 | 500 | 250 | 250 | 250 | | 1,000 |
| 受取利息 | | | | 500 | 500 | 250 | 250 | 250 | | 1,000 |
| 有価証券運用益 | | | | | | | | | | 0 |
| 雑収益 | | | | | | | | | | 0 |
| 経常収益計 | 3,525,000 | 0 | 39,867,360 | 12,145,500 | 55,537,860 | 13,551,250 | 13,551,250 | 5,947,750 | | 75,036,860 |
| 経常費用 | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 6,751,740 | 1,288,142 | 47,945,227 | | 55,985,109 | 10,736,490 | 10,736,490 | | | 66,721,599 |
| 給料手当 | 117,975 | 22,425 | 834,600 | | 975,000 | 162,500 | 162,500 | | | 1,137,500 |
| 臨時雇賃金 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 接待交際費 | | | 44,280 | | 44,280 | 816,316 | 816,316 | | | 860,596 |
| 福利厚生費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 旅費交通費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 通信運搬費 | 271,480 | 14,234 | 516,456 | | 802,170 | 276,136 | 276,136 | | | 1,078,306 |
| 減価償却費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 什器備品費 | 144,524 | 27,472 | 1,022,420 | | 1,194,416 | 199,070 | 199,070 | | | 1,393,486 |
| 消耗品費 | 144,602 | 6,038 | 224,700 | | 375,340 | 110,670 | 110,670 | | | 486,010 |
| 印刷製本費 | 98,519 | 119,205 | 1,928,155 | | 2,145,879 | 174,786 | 174,786 | | | 2,320,665 |
| 燃料費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 光熱水料費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 賃借料 | 3,028,392 | 63,930 | 2,051,880 | | 5,144,202 | 1,271,506 | 1,271,506 | | | 6,415,708 |
| 保険料 | 36,830 | | | | 36,830 | | 0 | | | 36,830 |
| 諸謝費 | | 872,715 | | | 872,715 | 152,600 | 152,600 | | | 1,025,315 |
| 租税公課 | | 200 | | | 200 | | 0 | | | 200 |
| 支払負担金 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 支払助成金 | | | 14,349,162 | | 14,349,162 | | 0 | | | 14,349,162 |
| 支払寄付金 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 委託費 | 2,822,786 | 106,310 | 26,973,574 | | 29,902,670 | 7,499,061 | 7,499,061 | | | 37,401,731 |
| 有価証券運用費 | | | | | 0 | | 0 | | | 0 |
| 雑費 雑支出 | | | | | 0 | 10,000 | 10,000 | | | 10,000 |
| 予備費 | 86,632 | 55,613 | | | 142,245 | 63,845 | 63,845 | | | 206,090 |
| 管理費 | | | | | | | | 7,612,485 | 0 | 7,612,485 |
| 役員報酬 | | | | | | | | | | 0 |
| 給料手当 | | | | | | | | 162,500 | | 162,500 |
| 退職給付費用 | | | | | | | | | | 0 |
| 福利厚生費 | | | | | | | | | | 0 |
| 会議費 | | | | | | | | | | 0 |
| 旅費交通費 | | | | | | | | | | 0 |
| 通信運搬費 | | | | | | | | 75,000 | | 75,000 |
| 減価償却費 | | | | | | | | | | 0 |
| 什器備品費 | | | | | | | | 199,070 | | 199,070 |
| 消耗品費 | | | | | | | | 43,750 | | 43,750 |
| 修繕費 | | | | | | | | | | 0 |
| 印刷製本費 | | | | | | | | 135,700 | | 135,700 |
| 燃料費 | | | | | | | | | | 0 |
| 光熱水料費 | | | | | | | | | | 0 |
| 賃借料 | | | | | | | | 385,000 | | 385,000 |
| 保険料 | | | | | | | | | | 0 |
| 諸謝費 | | | | | | | | | | 0 |
| 租税公課 | | | | | | | | | | 0 |
| 支払負担金 | | | | | | | | 1,861,504 | | 1,861,504 |
| 支払寄付金 | | | | | | | | | | 0 |
| 支払利息 | | | | | | | | | | 0 |
| 委託費 総務費 | | | | | | | | 600,000 | | 600,000 |
| 委託費 事務委託 | | | | | | | | 540,000 | | 540,000 |
| 委託費 会員費 | | | | | | | | 1,100,000 | | 1,100,000 |
| 委託費 特別会員費 | | | | | | | | 100,000 | | 100,000 |
| 委託費 広報費 | | | | | | | | 0 | | 0 |
| 雑費 渉外費 | | | | | | | | 309,961 | | 309,961 |
| 雑費 JCI渉外費 | | | | | | | | 2,000,000 | | 2,000,000 |
| 雑費 雑支出 | | | | | | | | 100,000 | | 100,000 |
| 経常費用計 | 6,751,740 | 1,288,142 | 47,945,227 | 0 | 55,985,109 | 10,736,490 | 10,736,490 | 7,612,485 | | 74,334,083 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | | | | | | | | | | 0 |
| 特定資産評価損益等 | | | | | | | | | | 0 |
| 評価損益等計 | | | | | | | | | | 0 |
| 当期経常増減額 | -3,226,740 | -1,288,142 | -8,077,867 | 12,145,500 | -447,249 | 2,814,761 | 2,814,761 | -1,664,735 | | 702,777 |
| 経常外費用計 | | | | | | | | | | 0 |
| 当期経常外増減額 | -3,226,740 | -1,288,142 | -8,077,867 | 12,145,500 | -447,249 | 2,814,761 | 2,814,761 | -1,664,735 | | 702,777 |
| 当期一般正味財産増減 | -3,226,740 | -1,288,142 | -8,077,867 | 12,145,500 | -447,249 | 2,814,761 | 2,814,761 | -1,664,735 | | 702,777 |
| 一般正味財産期首残高 | | | | | | | | | | 0 |
| 一般正味財産期末残高 | | | | | | | | | | 0 |

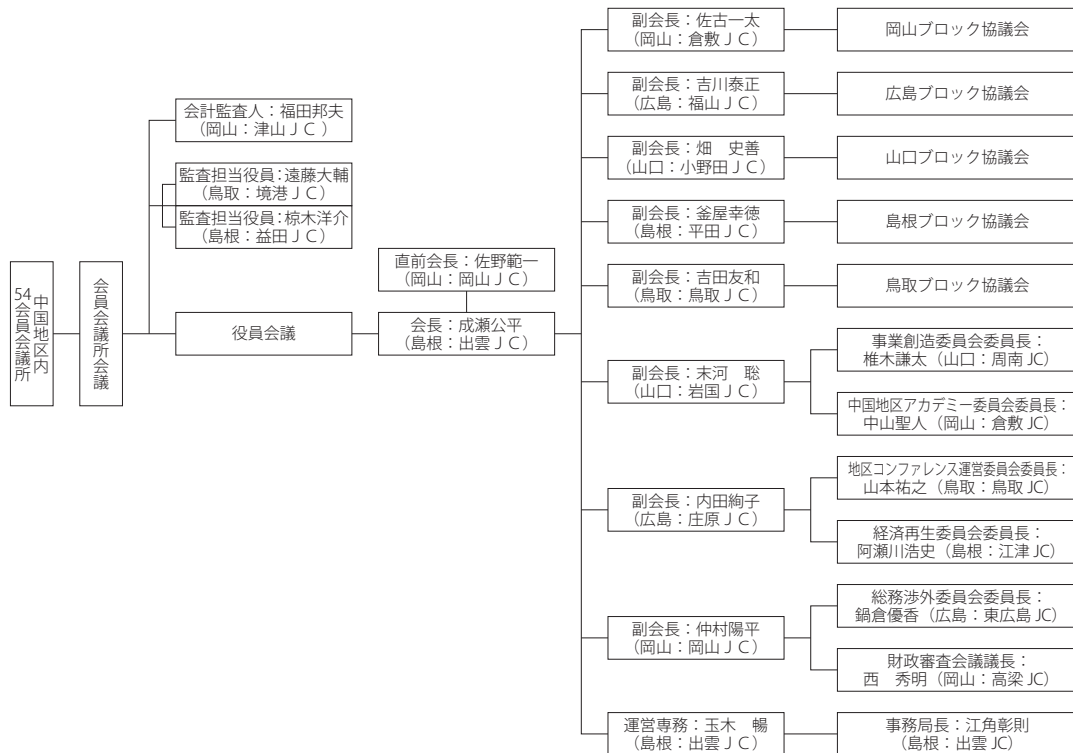
公益社団法人岡山青年会議所 2018年度 理事長公職

- 岡山県青少年育成県民会議 常任理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 『小さな親切』運動岡山本部 役員
- 第67回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
- 自然との共生プロジェクト推進会議 委員
- 国立吉備青少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 民間活力による運動部活動支援研究会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 委員
- 岡山市献血推進協議会 委員
- 公益財団法人岡山市公園協会 評議委員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROU FANTASY実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
- 岡山地方裁判所委員会 委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 岡山まちとモビリティ研究会 会員
- 岡山っ子育成条例推進会議 委員
- 旭川さくらみちの桜を守る会 理事
- 旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

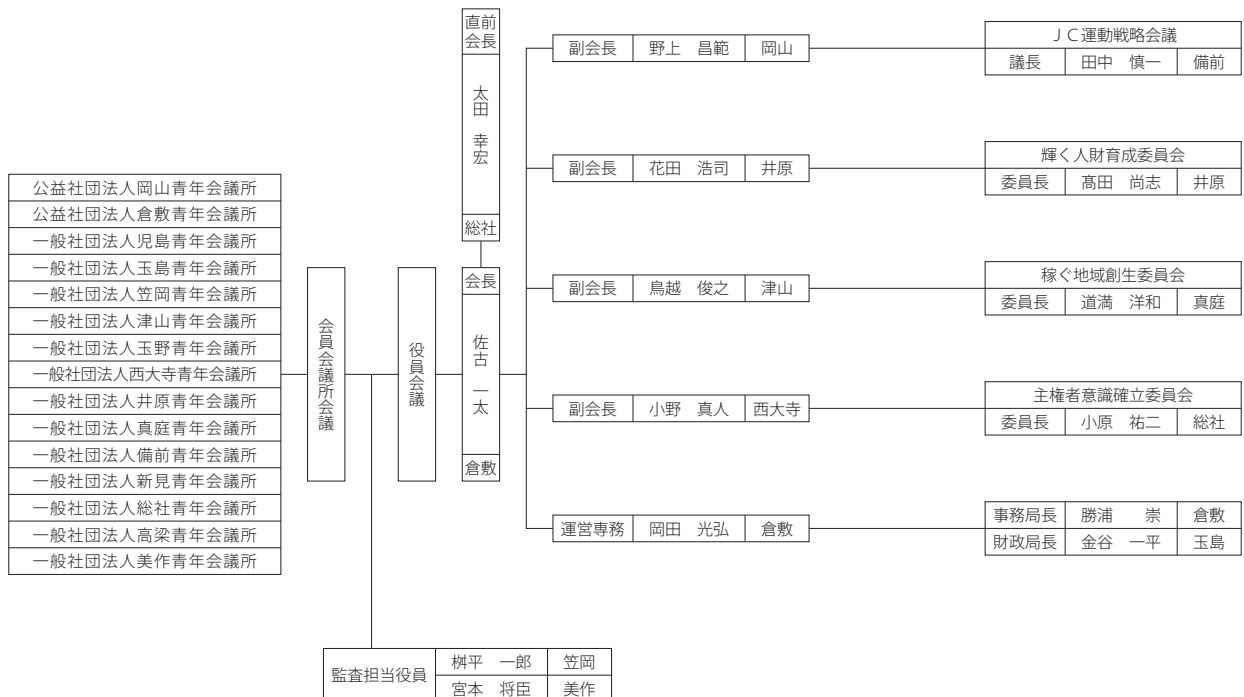
公益社団法人日本青年会議所 2018年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2018年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2018年度 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

| | | | | | |
|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 初代 | 1951年 | 江見祐吉 | 第35代 | 1985年 | 小嶋光信 |
| 第2代 | 1952年 | 江見祐吉 | 第36代 | 1986年 | 末長範彦 |
| 第3代 | 1953年 | 松田基 | 第37代 | 1987年 | 伊原木省五 |
| 第4代 | 1954年 | 松田基 | 第38代 | 1988年 | 池田金治郎 |
| 第5代 | 1955年 | 服部好郎 | 第39代 | 1989年 | 若林昭吾 |
| 第6代 | 1956年 | 稲田洋一 | 第40代 | 1990年 | 中島康博 |
| 第7代 | 1957年 | 藤木昌二 | 第41代 | 1991年 | 永野資幸 |
| 第8代 | 1958年 | 池田徳五郎 | 第42代 | 1992年 | 松田久 |
| 第9代 | 1959年 | 庭瀬欣一郎 | 第43代 | 1993年 | 服部恭一郎 |
| 第10代 | 1960年 | 松田堯 | 第44代 | 1994年 | 柳井淳 |
| 第11代 | 1961年 | 関種雄 | 第45代 | 1995年 | 森下矢須之 |
| 第12代 | 1962年 | 西下賢治 | 第46代 | 1996年 | 西康宏 |
| 第13代 | 1963年 | 逢沢英雄 | 第47代 | 1997年 | 梶谷俊介 |
| 第14代 | 1964年 | 石原真臣 | 第48代 | 1998年 | 稲荷泰瑛 |
| 第15代 | 1965年 | 小林達也 | 第49代 | 1999年 | 永山久人 |
| 第16代 | 1966年 | 中島輝夫 | 第50代 | 2000年 | 黒瀬仁志 |
| 第17代 | 1967年 | 黒瀬友近 | 第51代 | 2001年 | 西川智晴 |
| 第18代 | 1968年 | 小林稔 | 第52代 | 2002年 | 岡崎正裕 |
| 第19代 | 1969年 | 奥山勝太郎 | 第53代 | 2003年 | 藤原史暁 |
| 第20代 | 1970年 | 中島博 | 第54代 | 2004年 | 梶原康彦 |
| 第21代 | 1971年 | 木原佑一 | 第55代 | 2005年 | 八木一成 |
| 第22代 | 1972年 | 黒瀬敦美 | 第56代 | 2006年 | 占部守弘 |
| 第23代 | 1973年 | 中野英一 | 第57代 | 2007年 | 吉村武大 |
| 第24代 | 1974年 | 徳元秀臣 | 第58代 | 2008年 | 石田敦志 |
| 第25代 | 1975年 | 福武和彦 | 第59代 | 2009年 | 永山雅己 |
| 第26代 | 1976年 | 片山義久 | 第60代 | 2010年 | 岸本浩二 |
| 第27代 | 1977年 | 伊原木一衛 | 第61代 | 2011年 | 中山賢太郎 |
| 第28代 | 1978年 | 石田規夫 | 第62代 | 2012年 | 有松林太郎 |
| 第29代 | 1979年 | 藤原敬介 | 第63代 | 2013年 | 尾崎茂 |
| 第30代 | 1980年 | 前坂匡紀 | 第64代 | 2014年 | 鈴木森賢史 |
| 第31代 | 1981年 | 服部弘平 | 第65代 | 2015年 | 久松朋史 |
| 第32代 | 1982年 | 野津喬 | 第66代 | 2016年 | 佐野範一 |
| 第33代 | 1983年 | 岡崎彬 | 第67代 | 2017年 | 高見宣哉 |
| 第34代 | 1984年 | 滝澤輝治 | | | |

(敬称略)